

小中学校におけるトイレ洋式化の加速について

本市では、令和4年3月策定の呉市教育振興基本計画に基づき、呉市立小中学校におけるトイレ総数に対する洋式トイレの設置数の割合（以下「洋式化率」といいます。）が令和7年度末までに66パーセント以上になるよう、和式トイレから洋式トイレへの変更（以下「洋式化」といいます。）を計画的に進めています。

しかし、令和2年9月に文部科学省が公表した公立小中学校の洋式化率と令和5年9月に公表した洋式化率を比較すると、本市の洋式化率は、全国や広島県の平均と比較して低い状況にあります。

こうした他団体の状況を踏まえ、令和7年度までの洋式化率を向上させるため、洋式化を加速します。

文部科学省が公表した公立小中学校の洋式化率

| 公 表 | 全 国 | 広 島 県 | 呉 市 |
|------------|-------|-------|-------|
| 令和2年9月1日現在 | 57.0% | 51.4% | 32.7% |
| 令和5年9月1日現在 | 68.3% | 63.9% | 37.8% |
| 増 加 | +11.3 | +12.5 | +5.1 |

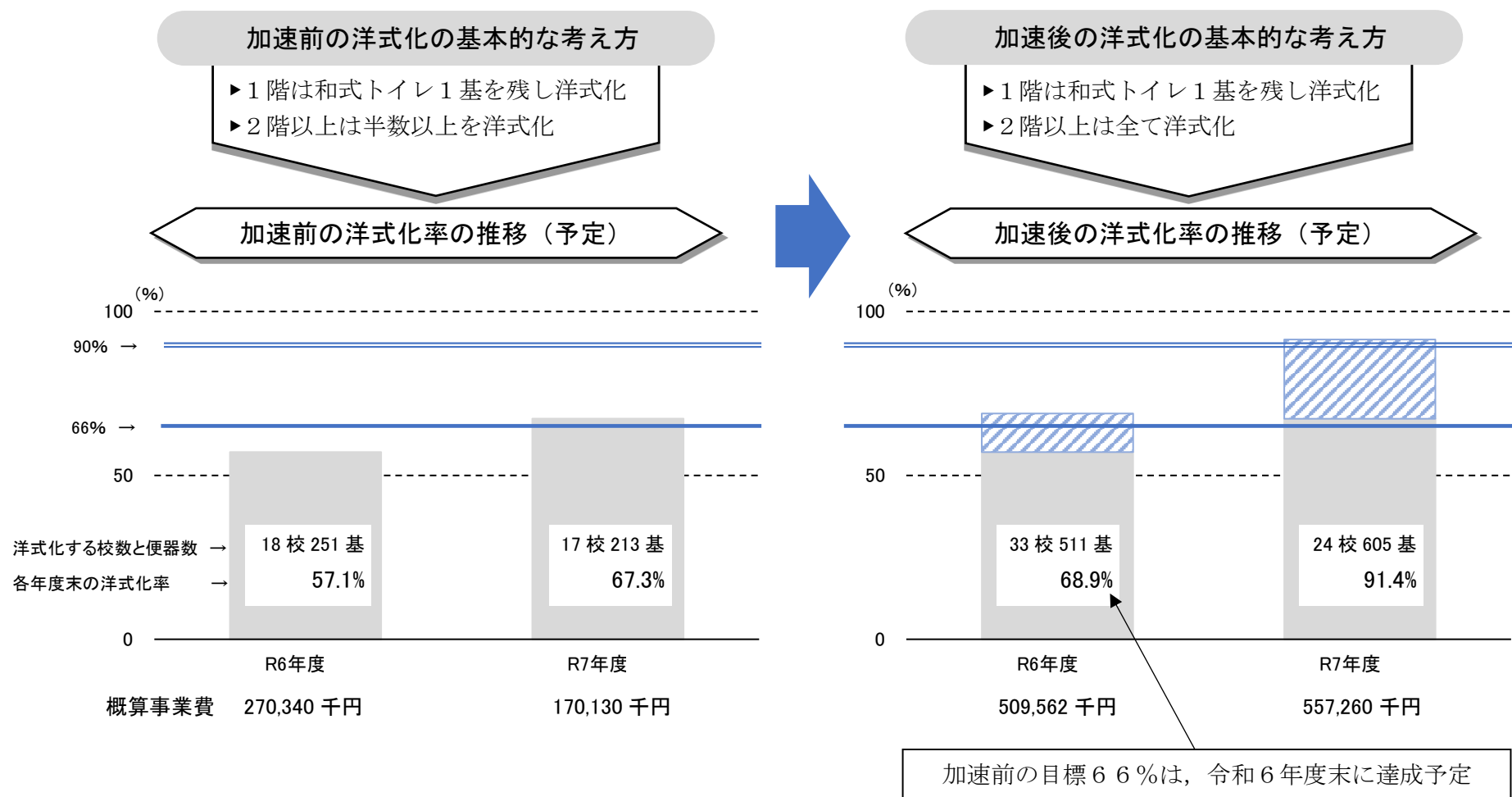
※広島県内の主な他市の状況（令和5年9月1日現在） 広島市69.2% 福山市59.7% 東広島市71.4%

1 これまでの主な取組

呉市立小中学校においては、令和3年度から5か年計画で、次のとおり洋式化を進めています。

- (1) 令和3年度は、体育館にあるトイレ37校57基（小学校23校39基，中学校14校18基）を洋式化
- (2) 令和4年度は、校舎にあるトイレ17校の洋式化に係る実施設計を実施
- (3) 令和5年度は、令和4年度に実施設計をした17校の改修工事を実施中（令和5年度末の洋式化率47.4パーセント）

2 加速前と加速後の洋式化率の推移（令和6年度以降）



3 今後の方針

呉市教育振興基本計画での洋式化率の目標66パーセントを91.4パーセントとします。

これは、学校から「校内1か所でいいので和式トイレを残してほしい。」という要望があるため、当面は和式トイレを残すものです。

なお、校舎等の建替工事・長寿命化改良工事を行う場合は、従前どおり全てのトイレを洋式トイレとします。